

# 図書館

としょだより

## だより

### 問い合わせ先

泗水図書館 ☎0968 (38) 6866  
 中央公民館図書室 ☎0968 (25) 1672  
 七城公民館図書室 ☎0968 (25) 1580  
 旭志公民館図書室 ☎0968 (37) 3111  
 内線303

### 閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日  
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日  
 七城公民館図書室 日曜日・祝日  
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

※図書イベント情報は、36ページの行事予定に掲載しています。



泗水図書館ではヤングアダルトコーナーを作っています。ヤングアダルトとは、大人と子どもの間。青春真っ盛りのあなたに読んで欲しい本を揃えています。ぜひお越しください！  
 (泗水図書館)

## 新着・お薦め図書

### 泗水図書館

密売人  
 やなりいなり  
 紅梅  
 ニキの屈辱  
 楽老のすすめ  
 だれも知らない不思議な病気  
 イケてないと思ったら読む本  
 万里の長城

### 中央公民館図書室

香清話  
 ラブケミストリー  
 ゴーストハント 1~5巻  
 フェアリーたちの魔女の夜  
 うまれてきてくれてありがとう

### 七城公民館図書室

リポート！  
 ほげちゃん

### 旭志公民館図書室

悪夢の観覧車  
 パパ・カレー

著者 佐々木 譲  
 著者 山中 恵  
 著者 津村節子  
 著者 山崎ナオコーラ  
 著者 多胡 輝  
 著者 N・ブッチャー  
 著者 横森理香  
 著者 加古里子

著者 畑 正高  
 著者 喜多喜久  
 著者 小野不由美  
 著者 あんびるやすこ  
 著者 にしもとよう

著者 福田和代  
 著者 やぎたみこ

著者 木下半太  
 著者 武田美穂

### 謎解きはディナーのあとで

私のおすすめの本は、東川篤哉さんの「謎解きはディナーのあとで」です。若手刑事の宝生麗子は、大金持ちのお嬢様。そんな令嬢刑事が、とあるアパートの一室で起こった殺人事件の捜査に関わります。この事件の話は、宝生家の執事、影山にしたことがきっかけで、この2人は数々の難事件を解決していくことになるのです。一番の見どころは、執事がお嬢様に對して毒舌で、しかも執事のほうが推理力が高いところ。2人の会話が面白いのです。私は普段、読書をあまりしないのですが、この本の中には笑える部分があった



柴田美優さん (菊池南中3年)

東川 篤哉 著  
 東川篤哉さんの「謎解きはディナーのあとで」は、早く早く続きが読みたいと思つたほどです。この本は「本屋大賞二〇一〇」で1位に輝いた本でもあります。だから、書店でも図書館でもよく見かけられると思います。私みたいに本をあまり読まない人にも、おすすめています。ぜひ手に取ってみてください。夢中になるはずですよ。

### 万句の里俳句会 8月句会

祈る間も声をかぎりに法師蟬  
 今宵また蛭になりし夫と逢ふ 吉井 綾子  
 丸山美代子  
 水あればこそその涼しさ風を生む 岩木 敬治  
 夏大根一人に辛し朝餉かな 打出 貞  
 一日は夫を想いて墓参り 野中 公枝

### せせらぎ俳句会 8月例会

駆け昇る火の脚速し大花火 五丁 義昭  
 部活動で帰省出来ぬと孫の文 藤本アツ子  
 手花火の終えてポツンと小さき玉 服部 静子  
 療友と集い窓辺や遠花火 寺本 和子  
 老いの論囃み合はずなり終戦日 藤本 邦治  
 流されし人も来ませり盂蘭盆会 水谷 ミネ  
 土用干しの梅の香匂ふ庭先に 芹川のり子

### 旭志文芸俳句会 8月詠草

祝詞あげ夏越しの祓肅々と 中尾ヨシコ  
 夕涼み南十字の星涼し 東 芳子  
 風誘う窓を開けば夏の月 芹川 蓉子

### 肥後狂句桜会 8月例会

夕空晴れて 一番星の光り出し 小川 繁美  
 お地藏さん 只で見よらすラブシー 狩野 本六  
 流行おくれ 思いがあつて捨てきら 窪田 明德  
 出しゃばりが 隣の嫁の躰する 田中 明德  
 噴飯もの 鑑定したらまがい物 田中レイ子

### 肥後狂句水笑会 8月例会

警報機 無視してあの世行きさした 井手 水光  
 よかったア やぶの見立てはガンだ 続 義昭  
 記憶力 まあだ若手にや負けんばい 柏原 乗仏  
 土よう丑 店にいつぴやア並どらす 御手洗三代  
 土よう丑 泥鰌でよかな銭の無か 山隈 好茶

### 七城短歌会 8月詠草

きのう今日雨ごもる鬱たまりある夕べに雨止み散歩にうち出づ 佐々 重弘  
 雨上がり濡れて輝く楠落葉拾いて作業衣の小袖で拭きぬ 高木 精  
 庭芝の中の草取る手が止まる金色に輝く朝露ありて 松岡みちえ  
 日課なる朝獲るゴーヤ瑞々し自生のパワーまるごと戴く 緒方 寛子  
 神やどる山々湖の面に写りいる嘘偽なき自然に佇ち尽くすなり 齊藤 芳子

### 高齢者大学 8月詠草

百日紅の紅き大房重たきか撓みて咲けり炎暑の庭に 宮本 幸子  
 わが身のみ無事なればとは思はねど台風外れば少し安堵す 中津 ツユ  
 今の世は人のころもメディアにて動かされつつ未来が見えず 原田テル子  
 足早に時間ばかりが過ぎ行けり老いたる五体いかに保たむ 川口 敦子  
 九階に住んでみたいなあ中空の空気のなかで花など咲かせ 雲田 郁子

## 耳より情報

### 泗水図書館へのご協力ありがとうございました！

泗水図書館では夏休みに「毎日おはなし会」を実施。司書と地域のボランティア約12団体にご協力いただき、おはなし会を楽しみました。参加した子どもたちは、のべ384人でした。ご協力ありがとうございました！  
 (泗水図書館)



### 「ムーミンのたからもの」 トーベ・ヤンソン 著



ある日、ムーミンは考えました。ママもパパもスナフキンも自分だけの宝物があるのに、ぼくにはなんにもない。ムーミンは考えれば考えるほど悲しくなりました。そしてムーミンは決心しました。ぼくだけの宝物を探しにいこうと。そして一。心が温かくなるやさしい絵本です。(中央公民館図書室)

### 「吃音センセイ 桜舞う校庭で」 佐藤文昭 著



主人公の女性は、吃音が原因で幼い頃からつらい経験をしてきました。しかし、女性を受け入れてくれる人たちとの出会いもあり、大人になって小学校の先生になります。女性が困難を乗り越えながら生きていく、実話を基にした小説です。(七城公民館図書室)



間昼間を音なく過ぐる通り雨猛暑もいつか秋の気配す 岩木 妙子  
 花柄の傘を開けばバラ園のバラ生き生きと雨粒はつむ 岩永 典子  
 臭覚の失せたる顔を近づけてバラの香りをよみがへらせる 氏岡 百枝  
 山路来てあじさみの道いく曲りはるかに拝す不早の歌碑を 梅田 昭子  
 此の猛暑に心身ともに疲れ果て冷房の中の粗大ゴミわれ 梅野カヲル

### 菊池短歌会 9月詠草

